

平成 28 年度 高大連携連絡協議会 記録

日時：平成 29 年 3 月 21 日（火）15 時 30 分～16 時 40 分

場所：湘北短期大学 721 教室

出席：湘北短期大学 9 名

宮下 小棹 小森 佐藤（知） 高木 高嶋 谷口 北野 小寺
連携高校 13 校 13 名（ ）内は高校名
佐々木（愛川） 木田（厚木北） 藤井（厚木商業） 小出（厚木清南）
小林（厚木西） 雨宮（厚木東） 岡本（綾瀬） 中川（有馬）
落合（小田原総合ビジネス） 高原（瀬谷） 程島（高浜）
牧石（茅ヶ崎） 鈴木（平塚湘風） （計 22 名 敬称略）

欠席校：相原 足柄 伊志田 伊勢原 海老名 川崎総合科学 座間 中央農業 二宮 秦野総合
藤沢清流 舞岡 町田工業 山北

1. 平成 28 年度 事業報告

- 1) 出張授業/その他 【資料④】に基づき説明を行った。
- 2) コミュニケーションリテラシー実施報告 【資料⑤】に基づき説明を行った。

2. 平成 29 年度 事業計画 【資料⑥】に基づき説明を行った。

「県立高校生学習活動コンソーシアム」に参加することになった。これに伴い、湘北の高大連携 Web サイト (<http://scopp.shohoku.ac.jp/>) は 5 月にリニューアルオープンする。

3. 意見交換

教育交流協定に変更はなく、H28 年度報告ならびに H29 年度事業計画をご承認いただいた。参加高校の各先生方から高大連携教育研究会や「コミュニケーションリテラシー」、各高校での新たな取り組みやアクティブラーニングなどについて次に示すような質問・ご意見をいただいた。

- ・スポーツ科学科新設によって入学者が大きく変化した／これまで「ビジネス」を主体としてきたが今後普通科を新設する。これに伴い、出張授業のテーマも変わることになる。
- ・インクルーシブ教育を行うことになった／「確かな学力育成推進」校になった。
- ・高校でもアクティブラーニング型授業としてディベートを取りいれているが、資料を読み解く力が不足していると感じる。
- ・基礎学力の定義は難しいが、5 分間テストなどで知識の拡大を図っている。
- ・「コミュニケーションリテラシー」は、高大接続授業としてたいへん好ましく、生徒も参加を楽しみにしている。
- ・受講生が高校にきて、「とても楽しかった」と報告している。
- ・3 月に卒業生講話を行っているが、2 年間での成長がうれしい驚きであった。
- ・アクティブラーニングやその評価法を教育研究会で多く取り上げているので、とても参考になった。今後積極的に参加したい。
- ・小中高連携を行っている。

4. その他

【資料⑦】のアンケート用紙にご意見等を記載いただき 4 月 14 日（金）までに FAX にて送信をお願いして、意見交換の時間を終えた。

以上